

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	足立区一般廃棄物処理基本計画の改定について										
所管部課	環境部ごみ減量推進課										
事業(結果) の概要	<p>現在の足立区一般廃棄物処理基本計画（第 2 次）策定後、7 年が経過したため、以下のとおり改定する。</p> <p>1 計画期間 平成 26 年度～平成 35 年度（10 年間） 計画は概ね 5 年を目途に見直しを行うほか、計画の前提状況に大きな変動があった場合にも必要に応じて見直しを行う。</p> <p>2 主な改定のポイント （1）新たな時代背景に合わせた一般廃棄物処理基本計画の策定 ごみの発生抑制につながる廃棄物の適正処理を推進する。 （2）3 R の推進とごみの減量 P R 活動の強化などにより区民の意識を向上させ、ごみの発生を抑制する。 （3）事業者に対する廃棄物適正処理の推進 事業者に対する適正排出及び適正処理の指導を強化する。 （4）資源化の推進 費用対効果を踏まえ、新たな品目の資源化について検討する。 （5）協働による廃棄物処理 集団回収活動支援事業の拡充により、行政回収を縮小し、経費を削減する。</p> <p>3 今後の手続き予定 平成 25 年 12 月 環境審議会で中間報告 平成 26 年 3 月 環境審議会の答申を踏まえて策定</p> <p>4 過去の計画</p> <table border="1" data-bbox="432 1615 1406 1832"> <thead> <tr> <th>計画名称</th> <th>計画期間</th> <th>策定日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足立区一般廃棄物処理基本計画（第 1 次）</td> <td>平成 12 年度～23 年度</td> <td>平成 12 年 3 月</td> </tr> <tr> <td>足立区一般廃棄物処理基本計画（第 2 次）</td> <td>平成 18 年度～32 年度</td> <td>平成 18 年 11 月</td> </tr> </tbody> </table>		計画名称	計画期間	策定日	足立区一般廃棄物処理基本計画（第 1 次）	平成 12 年度～23 年度	平成 12 年 3 月	足立区一般廃棄物処理基本計画（第 2 次）	平成 18 年度～32 年度	平成 18 年 11 月
計画名称	計画期間	策定日									
足立区一般廃棄物処理基本計画（第 1 次）	平成 12 年度～23 年度	平成 12 年 3 月									
足立区一般廃棄物処理基本計画（第 2 次）	平成 18 年度～32 年度	平成 18 年 11 月									

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	環境審議会委員の改選について
所管部課	環境部環境政策課
事業(結果) の概要	<p>任期満了に伴う環境審議会委員の改選について報告する。</p> <p>1 環境審議会委員 (1)委員の構成 学識経験者 2、区議会議員 4、区民 5、事業者 2(商店街振興組合連合会、工業会連合会) 行政機関職員 1 (別添 委員名簿参照)</p> <p>(2)任期 平成 25 年 10 月 2 日から 2 年間</p> <p>2 公募区民委員の選任 区民委員のうち 2 人を公募した。</p> <p>(1)募集 「あだち広報 7 月 10 日号」及び足立区ホームページで募集 各区民事務所にチラシ配布及び区内大学でポスター掲示</p> <p>(2)応募者数 8 人</p> <p>(3)選考方法・結果 足立区環境審議会区民公募委員選考基準に基づき、選考委員会(会長:環境部長、区管理職 2 人、外部専門委員 2 人で構成)を設置し、応募者の作文と面接を評価し、2 人を選任した。</p> <p>3 事業者代表委員の変更 これまでは、商業、工業、清掃・リサイクル関連事業者の 3 団体に推薦を依頼していた。しかし、今回、環境審議会では足立区一般廃棄物処理基本計画を審議するため、直接的な利害関係者となり得る清掃・リサイクル関連事業者団体への推薦を依頼せず、商業・工業団体のみ、推薦を依頼した。 なお、足立区一般廃棄物処理基本計画の見直しにあたっては、環境審議会とは別の場で、清掃・リサイクル関連事業者団体に意見を聴取する予定である。</p>

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	地球環境フェア 2013 の開催について
所管部課	環境部環境政策課
事業(結果) の概要	<p>楽しく参加できるイベントを通して、参加者が環境について学び、自分にできることを発見し、環境活動の実践につなげることを目的として、地球環境フェアを次のとおり開催する。</p> <p>1 テーマ 「明日のために 地球のために」 ～あなたから始める節電マイナス 10%～</p> <p>2 日時 10月26日(土) 午前10時から午後4時まで (開会式 午前10時30分から午前10時45分まで) 10月27日(日) 午前10時から午後4時まで</p> <p>3 会場 区民ロビー、庁舎ホール(26日)、正面広場、中央公園</p> <p>4 主催 足立区温暖化防止区民会議実行委員会、足立区</p> <p>5 主な内容(予定) (1)温暖化防止区民会議運動方針の宣言 (2)各団体による出展ブース 65団体 (3)環境映画上映(26日) (4)本格的移動動物園(27日) (5)体験型アトラクション (6)プラグインハイブリッド車展示 (7)スタンプラリー (8)ミニステージ 環境講演、出展団体研究発表、出展団体活動PR</p> <p>6 その他 (1)27日が休日開庁と重なるため、業務に支障が出ないようにする。 (2)両日ともにエル・ソフィアにて消費生活展が開催される。相互案内等の連携を行い、双方の集客力アップに取り組んでいく。</p>

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	平成 25 年度環境基金助成事業の決定について		
所管部課	環境部環境政策課		
事業(結果) の概要	平成 25 年度環境基金助成事業の交付団体を決定したので報告する。		
	1 環境基金助成事業の目的・概要 高環境の実現を目指す活動に対し、環境基金審査会が活動内容を審査し、環境基金から助成金を交付することでその活動を支援する。		
	2 平成 25 年度環境基金助成事業 7 月 2 日開催の環境基金審査会において、応募があった 9 つの活動について審査した結果、以下の 6 つの活動について助成を決定した。		
	申請者名	活動名	活動内容と 25 年度交付予定金額
	東京未来大学 竹橋洋毅講師 (社会心理学)	環境配慮行動 を促進する心理 的要因の検討	環境配慮意識を行動につなげる心理的要因を明らかにするため、区と連携し、実践行動を活性する心理的要因を明らかにするための調査を行い、提言を行う。(30,000 円)
	セブンエイト 流通コンサル タント合同会 社	循環型資材 (e-box)による 段ボール箱の削減とその 普及活動	業務用段ボール箱を 300 回程度リユースできる e-box に変えることで、環境負荷の軽減を目指す。e-box の開発と運用上の管理回収方法などを調査し、段ボール箱の削減と普及活動を進める。(980,000 円)
	特定非営利活 動法人エコロ ジー夢企画	太陽熱温水器 模型キット教 材の製作と普及	すでに開発した太陽熱温水器模型キットを改良し副読本を作成するとともに、学校教育の教材として普及させる。(1,000,000 円)
	東京電機大学 保倉明子准教 授(分析化学)	足立区の食と 環境を科学す る	先端計測技術を用いて、区内で生産される野菜の成分と生育土壌を分析し、安全性と特長、野菜と土壌に関する知見を得る。また、研究成果の解説や食と環境の関連について教育・啓発活動を行う。(2,500,000 円)
東京未来大学 小谷博子准教 授(育児工学)	東京未来大学 における環境 活動の取組み	学生による環境活動チームを作り、iPad を使った環境対策講座、エコに関する紙芝居や劇を取り入れた子どもたち向けのワークショップなどを行う。(550,000 円)	
東京未来大学 鈴木哲也講師 (理科教育)	足立区の環境 を対象にした デジタル紙芝 居の制作	身近な動植物や自然を使った遊びや食べ物のフードマイレージの問題など視覚的に理解できるように、小学生を対象としたデジタル紙芝居を制作し、DVD 化する。(1,000,000 円)	

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

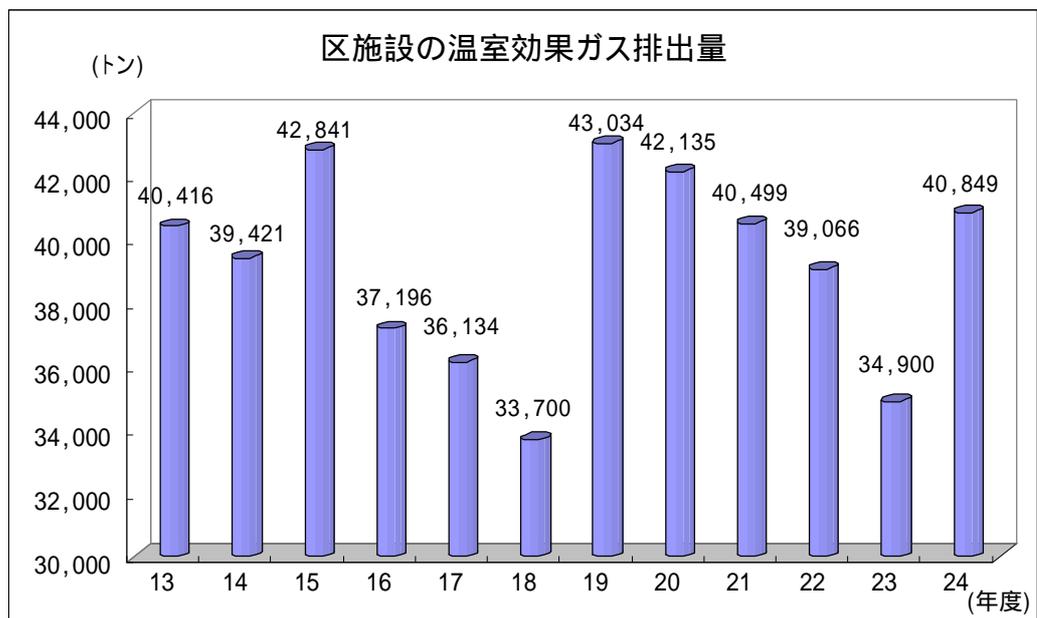
件 名	区施設におけるエネルギー使用量等について																							
所管部課	環境部環境政策課																							
事業(結果) の概要	<p>平成 24 年度の区施設におけるエネルギー使用量等をまとめたので報告する。</p>																							
	<p>1 平成 24 年度エネルギー使用量・ごみ量</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>環境基本計画の目標 (目標年次平成 27 年度)</th> <th>平成 24 年度の結果 (平成 22 年度比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量</td> <td>平成 22 年度比 15%削減</td> <td>70,321,832 k W h (- 9.2%)</td> </tr> <tr> <td>都市ガス使用量</td> <td>平成 22 年度比 7%削減</td> <td>3,322,826m³ (- 8.3%)</td> </tr> <tr> <td>ごみ量</td> <td>平成 22 年度比 5%削減</td> <td>2,612 トン (1.4%)</td> </tr> </tbody> </table>		環境基本計画の目標 (目標年次平成 27 年度)	平成 24 年度の結果 (平成 22 年度比)	電気使用量	平成 22 年度比 15%削減	70,321,832 k W h (- 9.2%)	都市ガス使用量	平成 22 年度比 7%削減	3,322,826m ³ (- 8.3%)	ごみ量	平成 22 年度比 5%削減	2,612 トン (1.4%)											
		環境基本計画の目標 (目標年次平成 27 年度)	平成 24 年度の結果 (平成 22 年度比)																					
	電気使用量	平成 22 年度比 15%削減	70,321,832 k W h (- 9.2%)																					
都市ガス使用量	平成 22 年度比 7%削減	3,322,826m ³ (- 8.3%)																						
ごみ量	平成 22 年度比 5%削減	2,612 トン (1.4%)																						
<p>2 経年比較</p>																								
<p>平成 22 年度を 100 とした場合の区施設のエネルギー使用量・ごみ量</p> <table border="1"> <caption>平成 22 年度を 100 とした場合の区施設のエネルギー使用量・ごみ量 (指数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電気使用量</th> <th>都市ガス使用量</th> <th>ごみ量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>99.0</td> <td>98.0</td> <td>104.0</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>98.0</td> <td>93.3</td> <td>105.5</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>89.2</td> <td>94.7</td> <td>102.0</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>91.0</td> <td>91.7</td> <td>101.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	電気使用量	都市ガス使用量	ごみ量	20	99.0	98.0	104.0	21	98.0	93.3	105.5	22	100.0	100.0	100.0	23	89.2	94.7	102.0	24	91.0	91.7	101.5
年度	電気使用量	都市ガス使用量	ごみ量																					
20	99.0	98.0	104.0																					
21	98.0	93.3	105.5																					
22	100.0	100.0	100.0																					
23	89.2	94.7	102.0																					
24	91.0	91.7	101.5																					
<p>(1)電気使用量 平成 24 年度の電気使用量は、震災前の平成 22 年度に比べ 9.2%減少し、前年に比べて 1.8%増加した。</p> <p>(2)都市ガス使用量 平成 24 年度の都市ガス使用量は、震災前の平成 22 年度に比べ 8.3%減少し、前年に比べて 2.8%減少した。</p>																								

(3)ごみ量

平成 24 年度のごみ量は、震災前の平成 22 年度に比べ 1.4% 増加し、前年に比べて 0.6% 減少した。

【参考】区施設の温室効果ガス排出量

震災と原発事故により、火力発電の割合が高くなっているため、節電の取り組みが必ずしも二酸化炭素排出量の削減と直接連動しない可能性がある。こうしたことから、今回の足立区環境基本計画の改定において、目標をエネルギー使用量の削減に変更したが、参考として温室効果ガス排出量も算出している。



各年度の排出係数は前年度実績に基づく値を使用

平成 25 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	足立清掃事務所における節電モデル事業の実施について																
所管部課	環境部環境政策課、足立清掃事務所																
事業(結果)の概要	<p>足立清掃事務所（以下「事務所」という）における節電と電気料金の削減を目的として、事務所の電力需給契約について、オリックス株式会社（以下「オ社」）のデマンドレスポンスサービス『はっとわっと』（以下「本サービス」）をモデル事業として採用したので、概要を報告する。</p> <p>1 本サービスの概要</p> <p>(1)オ社は、事務所に電気使用量を計測する機器を無償で設置し、オ社及び事務所で電気使用量を「見える化」する。</p> <p>(2)オ社は、事務所の電気使用状況を確認し、電気使用量が基準を超えそうな場合は、事務所に設置するパトランプを点灯させ節電を促す。あわせて、事務所に天候などを考慮した電気使用量予測情報の提供や節電アドバイスを行う。</p> <p>(3)上記(1)、(2)の実施を条件に東京電力株式会社（以下「東電」）との契約電力を下げ、基本料金を削減するとともに「見える化」や節電アドバイスなどで電気使用量を減らすことで電気料金の削減を図る。</p> <p>2 本サービスの費用負担等</p> <p>(1)機器の設置等の初期投資はオ社が負担する。</p> <p>(2)事務所の電力需給契約はオ社と東電が締結し、毎月の使用実績に基づき、オ社が東電に電気料金（以下「実績額」）を支払う。</p> <p>(3)あらかじめ、前年実績に基づき基準額を定める。</p> <p>(4)区はオ社に対して実績額に加え、実績額と基準額の差額の一定割合を本サービスの対価として支払う。</p> <p>3 事務所における 8 月の電気使用状況</p> <table border="1" data-bbox="453 1624 1404 1870"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 25 年 8 月</th> <th>前年 8 月実績</th> <th>増減比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用電力量</td> <td>46,529kWh</td> <td>51,978kWh</td> <td>-10.5%</td> </tr> <tr> <td>最大需要電力</td> <td>184 kW</td> <td>205 kW</td> <td>-10.2%</td> </tr> <tr> <td>電気料金支払額 うちサービス対価</td> <td>1,160,470 円 (29,991 円)</td> <td>1,250,443 円</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">前年 8 月の実績を今年の単価で算定した場合の金額</p> <p>8 月は、使用電力量を前年比 10%以上削減したため、本サービスの対価は差額の 25%に相当する 29,991 円となる。</p>		平成 25 年 8 月	前年 8 月実績	増減比	使用電力量	46,529kWh	51,978kWh	-10.5%	最大需要電力	184 kW	205 kW	-10.2%	電気料金支払額 うちサービス対価	1,160,470 円 (29,991 円)	1,250,443 円	/
	平成 25 年 8 月	前年 8 月実績	増減比														
使用電力量	46,529kWh	51,978kWh	-10.5%														
最大需要電力	184 kW	205 kW	-10.2%														
電気料金支払額 うちサービス対価	1,160,470 円 (29,991 円)	1,250,443 円	/														

足立区環境審議会委員名簿

平成25年10月2日現在

No.	ふりがな 氏 名	区 分		備 考
1	たなか みつる 田 中 充	学識経験者	会長	法政大学社会学部教授
2	たかむら よしひこ 高 村 淑 彦	学識経験者	副会長	東京電機大学工学部教授
3	せぬま ごう せぬま 剛	区議会議員		
4	ぬかが かずこ ぬかが 和 子	区議会議員		
5	ふちがみ たかし 淵 上 隆	区議会議員		
6	おかやす たかし 岡 安 たかし	区議会議員		
7	わたなべ げんしょう 渡 辺 源 勝	事 業 者		足立区商店街振興組合連合会
8	とよだ きんぞう 豊 田 金 造	事 業 者		足立区工業会連合会
9	たなべ はるよ 田 邊 治 代	区 民		
10	はせがわ きょうこ 長谷川 京 子	区 民		
11	さとう つよし 佐 藤 強 士	区 民		
12	ひろさわ まさこ 広 澤 マサ子	区 民		
13	おんだ めいこ 遠 田 明 子	区 民		
14	いしかわ よしお 石 川 義 夫	行政機関職員		足立区副区長